

『食と農のあり方・子どもの未来をどう考えますか』

広がる放射能汚染と農都共生を考えるー

- 農都ネットサロン ・ 第3回へのお誘い -

農山漁村で生活し農林漁業に向き合っている地域の方々と、都会で生活し農的環境・農的暮らしへのまなざしをもつ人々が出会い、相互に交流しながら「農都共生社会」づくりについて考え、語り合う場、「農都ネットサロン」パート へのお誘いです。

全6回のシリーズで、東日本大震災と東電福島原発の重大事故による農林漁業および農山漁村地域への計り知れないダメージという現実を踏まえ、「食と農のあり方」や「子ども達の未来」について考え、農山漁村と都市との共生、協同をどう実現するか、話し合います。

今回は、子育て世代の方々に集まって頂きたく、平日の午後、茶話会として進めます。お気軽にご参加下さい。

第3回 「地域循環・有畜複合農業コミュニティが抱えたジレンマ」

食の汚染を減らす作り方・食べ方の対策 - 生産者編

那須塩原市で自給自足と有畜複合農業を実践し、アジア各国の若い有機農業導者を育てているアジア学院での汚染克服の生産努力を参考にして話し合う。

日 時 2012年2月28日(火) 14時~16時

会 場 東京労働安全衛生センター 会議室

(東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4F)

JR総武線「亀戸駅」東口徒歩7分

話題提供者 荒川治氏(学校法人アジア学院・農場長)

参加費 1,000円(茶菓込み)、会員は500円

事前申込み制

準備の都合上、参加希望者は、住所、氏名、連絡先、所属等明記の上、Fax又はメールで2月25日までに申し込みください。

主 催 特定非営利活動法人農都共生全国協議会

協 賛 NPO法人ワーカーズコープ
NPO法人有害化学物質削減
ネットワーク

申込み、問い合わせ先

農都共生全国協議会 事務局(井上)

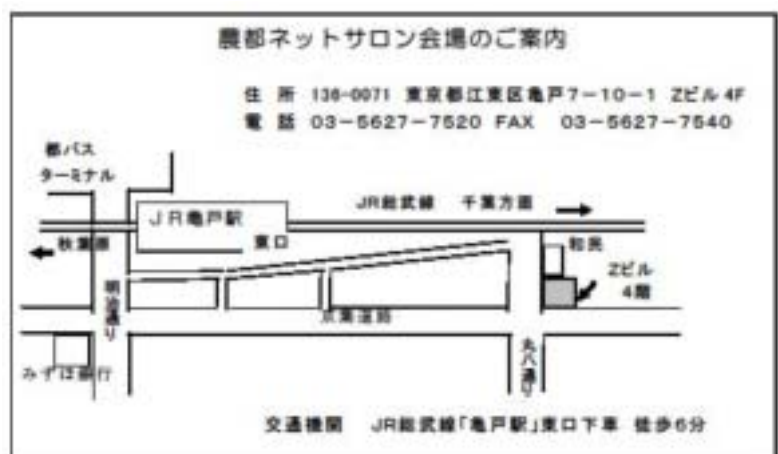
〒116-0014 東京都荒川区

東日暮里 6-40-22

電話 03-3891-8120

Fax 03-3801-7327

メール hi.inoue@notonet.jp



農都ネットサロン 日程とテーマ

第1回	11月22日(火)14時～16時	話題提供者 小泉好延氏 市民エネルギー研究会 元・東京大学アイソトープセンター助手 福島原発事故と放射能汚染の実態と、 放射能被害にどう対処すべきか話す
	「再び“食と農”を襲う「死の灰」 - 放射能の基礎知識」 放射能汚染の現状と食の安全をめぐる動き	
第2回	2012年1月24日(火)14時～16時	話題提供者 大内信一氏 福島県・二本松有機農業研究会 顔の見える産直提携運動の中で出てきた 思わぬ事態を検証する
	「引き裂かれる生産者(農村)と消費者(都市)」 放射能汚染の現状と食の安全をめぐる動き	
第3回	2月28日(火)14時～16時	話題提供者 荒川治氏 学校法人アジア学院・農場長 那須塩原市で自給自足と有畜複合農業を 実践し、アジア各国の若い有機農業指 導者を育てている学院での汚染克服の 生産努力を参考に話し合う
	「地域循環・有畜複合農業コミュニティが抱えたジレンマ」 食の汚染を減らす作り方・食べ方の対策 - 生産者編	
第4回	3月27日(火)14時～16時	話題提供者 佐久間淳子氏 ジャーナリスト 放射能汚染とどう付き合っていくのか、 どの程度ならがまんするのか？
	食の汚染を減らす作り方・食べ方の対策 - 生活者編 内部被ばくと健康管理の視点から考える	
第5回	4月24日(火)14時～16時	話題提供者 鶴巻義夫氏 (有)津南高原農産、新潟有機農業研究会 放射能汚染ゼロをめざす生産を支える鍵 人づくり、農援隊のすすめはどう応える か。
	「放射能汚染の克服と新たな提携を考える」 農山漁村コミュニティの再生と“人づくり”	
第6回	5月22日(火)14時～16時	話題提供者 蔦谷栄一氏 農林中金総研特別理事 「食と農」の新たなあり方を考え、都市と 農山漁村の協同をどのように進めるか
	「放射能汚染の克服と新たな提携を考える」 都市と農山漁村の協同を探る	

農都ネットサロン 参加申し込み

農都ネットサロン に参加します。

2011年 月 日

氏名		所属	
住所	〒		
電話		Eメール	
参加希望	第1回、 2回、 3回、 4回、 5回、 6回。 6回通しチケット		